

# 報告事項 平成 26 年度活動事業報告

## 1. 特定非営利活動に係る事業

### (1) 介護保険法に基づく居宅サービス事業

#### 1) デイサービス事業

○利用者の平均年齢＝（84.8 歳＋0.3 歳）（男性・84.7 歳 ＋2.2 歳、女性・84.8 歳 ＋0.1 歳）

○年間利用者数

利用者数	延べ 4,070 名	前年度(25 年度)4, 231 名に対し <u>161 名減少</u> しました。
月平均	15. 9 名	前年度(25 年度)16.8 名に対し <u>0.9 名減少</u> しました。

○デイサービス利用者数 52 名（前 25 年度より 6 名増。平成 27 年 3 月 31 日現在）

うち男性—6 名(+2 名)、女性—46 名(+4 名)

要支援—14 名(+2 名)

要介護—38 名(+4 名) 介護 1 (27 名)介護 2(6 名)介護 3(3 名)

介護 4(2 名)介護 5(0 名)

コスモスの家ケアプラン—9 名(−12 名)

他事業所ケアプラン——43 名(+18 名)

(1) 利用者登録数は 60 名をめざしてきましたが、最高でも 52 名でした。

逝去された方 4 名、入院の方 5 名、入所の方 6 名となっています。

コスモスの家ケアプランは 1 月にケアマネ 1 名退職の為、昨年度と比べて−12 名減少しています。

他事業所ケアプランは+18 名増えています。

(2) 見学希望、新規依頼に関しても今年度は 12 件ありました。そのうち利用につながったものは 11 件、コスモスの家のケアプランでデイサービスを見学されず利用にされた方が 1 件です。

(3) 利用者平均も上半期は前年度に引き続き 16.8 名と安定していたこともあり、下半期は 15 名と大きく減り、月平均 13.3 名まで落ちることもありましたが年間では 15.9 名と昨年度と比べ 0.9 名減少しました。

(4) スタッフ数は送迎のみのスタッフなどがある為、前年度より 258 名増えています。さらにはボランティアさんの高齢化もあり、ボランティアさんの参加人数が前年度より 21 名減という月もあり、スタッフ一人に対する負担が増えています。

(5) 利用者の楽しみでもある、恒例のイベントは引き続き工夫して実施できています。

4 月 お花見ドライブ

5 月 バラ苑ドライブ

6 月 あじさいドライブ・ハーモニカ演奏会

7 月 七夕飾り

9 月 コスモス祭り

- 10月 バラ苑ドライブ・保育園児交流会(ハローウィン)  
 12月 生田中学吹奏楽演奏会・ハーモニカ演奏会  
 1月 初釜

- (6) 今年度、非常勤スタッフが認知症の研修に参加しました。現在デイサービスの利用者数 52 名中認知症状のある方は半数以上近くいます。今後もスタッフに認知症研修の参加を勧めていきます。
- (7) 毎月一回のケア会議でケアの意見交換をし、自分のケアの見直しとともに技術の向上につなげています。また新年度の介護保険制度改定についての研修に参加しています。

## 2) ホームヘルプサービス事業

	ケース数 (名)	実績ヘルパー数 (名)	総時間数	身体介護型 (時間)	生活支援型 (時間)	予防介護型 (時間)	保険外型 (時間)
H25 年度	591	248	5,498	2,028 20分	1,654 55分	1,634 45分	180
H26 年度	507	221	4,980 35分	1,786	1,519 45分	1,467 50分	207
比較増減	-84	-27	-517 30分	-242 20分	-135 10分	-166 55分	+27

- 新規利用者が 10 名に対しサービス終了利用者が 19 名だったのでケース数と総活動時間数が大幅に減少しました。ただし、保険外型（自費）利用者は少しずつ増えてきています。
- 常勤 1 名、非常勤 1 名の体制で対応しました。
- 多摩区訪問介護事業連絡会 第 3 回総会に参加をしました。同事業所連絡会主催の研修に 6 回参加をしました。
- 外部研修
  - ・一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会主催  
「サービス提供責任者研修セミナー」
  - ・川崎市社会福祉協議会主催  
「福祉職員向け現任研修 “認知症高齢者の心理的理解”
  - ・神奈川県社会福祉協議会主催  
「サービス提供責任者初任者研修」
  - ・ホームヘルパーの集い in 京都  
分科会 “分かち合いたい！サービス責任者の仕事”
- ヘルパー研修は 1 回のみ実施しました。
  - ・腰痛予防～ “ヨガ” 11 名参加
- 担当ヘルパーによるケース会議を 3 ケース実施しました。

## (2) 介護保険法に基づく居宅介護支援事業

### ケアプラン作成事業

	H26年度	月平均	前年度と比較	前年度比			
延べ	777	64	844 -67	0.92			
要支援者	249	20	267 -18	0.93			
要介護者	528	44	577 -49	0.91			
新規	15		(21) -6				
終了	43		(24) +19				
(逝去)	4		(7) -3				
(包括へ)	14		(14) +14				
(引越し)	1		(1) 0				
(入所)	7		(9) -2				
(入院など)	6		(5) +1				
(自立)	1		(1) -1				

- 前年度と比べると、延べ人数は67名減っています。1月からケアマネが1名退職となり、他事業所へ15ケース、包括へ14ケース移動することになりました。渡辺理事長がケアマネに復帰し現在4ケースに対応しています。
- 今年度の終了者は他事業所への移動以外14ケースありました。入所の7ケースでは自宅で転倒して入院その後入所になる方と、独居の方で認知が進み在宅での生活が無理になり入所されました。
- 困難事例も引き続き受けており家族、包括、行政、病院等と連携を取り合い対応しています。特に認知症関連のケースが増えております。
- ミニデイサービスは毎月第一木曜日で続けていますが、スタッフ補充等が難しく利用者数を増やすところまではいかず、4名前後の利用者参加になっています。
- 新規の依頼は前年度同様の地域包括支援センターからに加え、近くにコスモスの家があるからと相談に来て利用に結びつくことがありました。
- 通所介護、訪問介護との連携を図るため3事業所会議は引き続き行ってきました。
- 介護支援専門委員会や研修に参加し情報収集、スキルアップに日々努めています。

### (3) 介護保険法に基づく介護予防サービス事業

(デイサービス事業、ホームヘルプ事業にて報告)

### (4) 介護保険法に基づく介護予防支援事業 (ケアプラン作成事業にて報告)

### (5) 行政の福祉・介護事業等の受託事業

#### 1) 有馬コスモスの家受託事業

○年間利用状況

実施回数	利用者実数			利用者 延人数	年 齢 内 訳			
	男	女	計		60代	70代	80代	90代
240回	12	78	90	4017	4	44	38	4

○1日平均利用者数 16.7% 平均年齢 79.3歳

○新規登録者数 14名

○退所者数 9 名（退所理由：介護認定 4 名、自己都合 4 名、逝去 1 名）

<実態把握>

日中独居	1人暮らし	高齢者世帯	計
45	24	21	90

<年間の取り組み>

介護保険対象外の自立の方を対象としているとはいえ 60 代後半から 90 代の方が通所されているので活動内容の平等化に難しい面もありますが皆さんが 1 日楽しんでもらえるよう取り組んできました。

- 定着してきたストレッチでは、ストレッチローラーやボールを使っての筋力強化、またセラバンド(ゴム)やペットボトルを使ったストレッチも好評でした。
- 手芸では、月 1 回、3 名のボランティア講師の方が来て下さる手芸も好評でした。
- 福祉ネットに参加することによりふれあいデイサービスセンターが介護保険施設ではなく、介護予防の施設であること知っていただくことができました。  
毎行われる歌やリンパ体操はもちろんのこと年 1 回のリンパピクス体操はとても好評です。
- 前年度より実施してきた登録日以外の自由参加については曜日によっては満員になる曜日もできました。
- 昨年同様、全額ご利用者負担のバスドライブ(横浜中華街)を行ったところとても好評でした。
- 緊急時の連絡先の確認を行い一覧表の作成をしました。全曜日での避難訓練はできませんでしたが避難訓練を行い消防署へ報告しました。
- 各曜日で防災についてのミーティングを行い、災害時の確認や防災グッズの確認をしました。
- 小学校の畑をお借りして、ジャガイモ、ネギ、小松菜、春菊などをご利用者も参加して栽培しました。
- 小学校交流事業では、3 年生の学習発表会参加・マロンフェスタ(10 月)・書初め展(1 月)・作品展(2 月)を行い、またボランティア委員会の子供たちからエコキャップやベルマークの回収についての声掛けがありご利用者の皆さんも協力をしてくれています。
- 前年度同様、給食施設申請は、栄養士資格を持っている調理場スタッフ児玉さんの名前で福祉センターへ届出をしました。

**(6) 独居又は病弱の高齢者等に対する給食宅配事業**

**1) 夕食宅配事業**

配食数	4 6 8 8 食	前年度(平成 25 年度)に比べて 3 3 4 食増えました
-----	-----------	--------------------------------

- プラン作成のなかで地域包括支援センター、ケアマネージャー、デイサービスからの紹介がありました。利用者からの紹介もありました。
- 例年通り、死亡、入院、入所、転居等、利用者の著しい変化がありました。
- 雪の時も、皆様の協力で休むことなく通常通りの業務ができました。(一部配達できない地域がありました)
- 多摩区「ケアマネ定例会」「地域の配食サービスを知ろう！」に試食ブースを作り、参加しました。

**(7) 高齢者及び中高年の中途障害者等を対象とする日帰り介護事業及び訪問介護事業**

**1) 宮前コスモスの家**

絵の会	毎月第3木曜日	11回開催	参加者述べ64名
-----	---------	-------	----------

○ 絵の会を「グループ華」と名付け全員水彩画を学ぶようになりました。

**2) 自由契約ヘルパー（ホームヘルプ事業にて報告）**

**(8) 高齢者の福祉に関する情報提供等の事業**

**1) 三田ふれあいセンターコスモスの家**

(参加人数)

	昼食会	ヨガ教室	パソコン教室	健康麻雀クラブ	その他	合計(回数)
平成24年度	954(41)	192(20)	310(42)	310(42)	112(5)	2643 (221)
平成25年度	929(44)	170(18)	285(46)	1216 (103)	48(2)	2671 (214)
平成26年度	929(44)	210(22)	308(44)	1120 (102)	51(2)	2618 (214)

その他(男の料理教室、フォーラム)

- 「ふれあいセンター通信」を発行することが出来ませんでした。  
そのかわりに、ふれあいまつりと三田花見の会のチラシに活動の紹介を掲載し、配布しました。  
今後、地域住民の方が継続して活動に参加してもらえるように、定期的な広報の必要性が課題です。
- 各活動を横繋ぎにし、更なるネットワーク化を図るために「ふれあいセンターフォーラム」を7月5日(土)コスモスの家ケア室にて開催しました。
- 昼食会は、7月16日、23日、トイレ改修のため中止となりました。
- 各活動において、ボランティアさんが中心的な役割を果たしていました。

**2) 三田花見の会**

日時 平成27年3月29日(日) 午前11時～午後1時半

場所 コスモスの家ケア室

主催 コスモスの家

内容 ハーモニカ演奏(ふれあいセンターハーモニカ愛好会)、東北支援物資の販売

参加者 約40名

## (9) 児童福祉に関する保育事業

### 1) こすもす保育園

1 こすもす保育園は平成25年4月より25年度川崎市の「川崎認可外保育事業再構築基本方針」により川崎認定保育園B型となり定員25名の保育、子育て支援、一時保育など地域における様々なニーズに応えた子育て支援を行ってきました。

### 2 26年度保育児童数

月(日数)	ちゅーりっぷ組				すみれ組				合計
	0歳 (4名)	1歳 (9)	一時保育	計	2歳 (4)	3歳 (2)	一時保育	計	
在籍	2名	6名	6名		10名	2	4		合計
4月(21)	24	113	30	165	186	20	33	239	404
5月(21)	31	111	18	160	176	20	53	249	409
6月(22)	34	134	36	204	193	20	50	263	467
7月(21)	54	123	37	214	198	22	26	246	460
8月(21)	64	129	27	220	194	16	31	241	461
9月(20)	69	146	39	254	169	19	39	227	481
10月(22)	77	146	44	267	197	21	33	251	518
11月(18)	45	104	37	186	163	18	27	208	394
12月(19)	49	106	44	199	182	19	31	232	431
1月(19)	83	96	48	227	187	37	30	254	481
2月((19)	66	97	38	201	149	26	26	201	402
3月(22)	111	120	47	278	196	44	33	273	551
合計				2575				2884	5459

- 延べ人数5459人 前年度(25年度)4827人に対し632人増  
一日平均22.5人

### 3 環境整備・設備充当についての報告

- 常勤保育士に確保が出来ずシフトが不安定であった。
- HPを見ての見学希望も多く入所につながった。
- 恒例になっている水曜日の畑での地域の方との野菜作りを楽しみ食育につながる。
- ディサービスに訪問しお年寄りとの交流を子どもたちが大変喜んでいた。
- 11月にインフルエンザが流行して欠席多かった以外は出席が多く昨年に比べて受け入れ人数が増えた。
- 生田緑地へ全園児でお別れ遠足へ行く。長い距離もよく歩いて成長を感じた。
- 3月31日17:30～新年度の準備を行う。27年度にスムーズに移行できた
- こすもす保育園は駅近ではないが、自然や建物、地域の方々との関わりなど保育環境としては豊かで人材にも恵まれていることから保護者にも大変喜ばれている。今後も地域に求められる保育園として努力していきたい。
- 室内の乾燥を防ぐために加湿器を購入する

- 会議・研修参加
  - ・多摩区公私立保育園園長会
  - ・多摩区幼・保・小連携会議
  - ・多摩区公私立保育園看護師連携会議
  - ・川崎市保育園職員研修
  - ・その他

## (10) 住みよいまちづくり事業

### 1) めだかの地域大学

地域において「生涯学習の場」、「情報交換の場」、「ひきこもり予防」等、「多様な参加の場」として、参加者の要望に基づいての継続的な教室を行いました。

- 7月31日 夏休み子ども料理教室 28名（講師 多摩区ヘルスメイトの会）
- 12月23日 生田中学校吹奏学部演奏会 91名
- 3月14日 地域包括ケアについて 日本女子大学教授 黒岩先生 43名

### 2) 第12回三田ふれあいまつりの開催

地元「三田商店街」との連携による、まちの活性化と地域住民の暮らしのネットワークを目指しました。会場となった生田中学校特別創作活動センターでは、来場された方々の様々な交流を作ることが出来ました。

- 日時 平成26年11月2日（日）午前11時～午後2時
- 主催 三田ふれあいまつり実行委員会
- 共催 NPO 法人秋桜舎・コスモスの家  
コスモスの家を支える会
- 後援 川崎市多摩区社会福祉協議会
- 会場 生田中学校特別創作活動センター
- 参加者 約150名

#### 内容

- バザー会場では、日用雑貨、お赤飯、いなり寿司、新米などを販売しました。
- 調理室では、喫茶室を開き、ケーキセット、トン汁セットの販売を行いました。
- 東北支援物資（ふりかけ、味噌）を南相馬市NPO法人あさがお、ほっと悠作業所より取り寄せ販売しました。
- 中2階円形広場では、五反田自治会婦人部によるコーラス、ハーモニカ演奏（ふれあいセンターハーモニカ愛好会）がありました。また、2階円形廊下では、宮前コスモスの家の絵画作品他とフォトギャラリーの展示をしました。
- バザーに来場された方々に三田まちづくりの花いっぱい運動の一環として、チューリップの球根を配布しました。
- 24店舗の商店が協賛して下さいました。（協賛金：フジ薬局、三田郵便局、理容室サワダ、まつもと美容院、双葉ハウス）
- コスモスの家関係者のおまつりから脱し、「三田地域全体で行事を共有できるような方向性」を目指しました。

### 3)「三田まちづくり委員会」の取り組み 地域ネットワーク作り

○ 日常的なネットワーク作りが、地域の孤立問題や緊急災害時における課題解決に必要と考え、生田中学校、明治大学園田先生研究室と共催で地域住民の交流会を開催しました。

8月18日(月) だんご汁(すいとん)の会 41名

1月17日(土) 初がまの会 21名

### (11) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

#### ○研修会

日時 平成26年10月11日(土) 午後1時～3時

場所 コスモスの家デイサービスセンターケア室

内容 「介護保険改正について」

講師 山本敏貢 大阪千代田短期大学教授・コスモスの家理事

参加者 約30名

#### ○ 福利厚生

健康診断補助(常勤スタッフ)

1年1回インフルエンザ予防注射

エプロン代1,000円補助

市民共済への加入

新年会の開催

#### ○ 広報活動

コスモス便り 第99号春夏号 第100号記念号、第101号秋冬号を発行

#### ○ 実習生・見学者の受け入れ

生田中学校 延べ8名 職業訓練生受け入れ

#### ○ 高齢者相談会

日時 毎月第4水曜日 14時～16時

場所 レイディアントシティ向ヶ丘遊園

内容 介護保険、医療機関の情報ほか、近隣の情報共有と交流

## 2. その他事業

### (1) 物品販売事業(住みよいまちづくり事業にて報告)

### (2) スペース貸出し事業

○ ふれあいセンター施設利用 45件 前年比-29件

(韓国語を学ぶ会、第一生田ハイツ管理組合及び自治会、第二生田ハイツ自治会、三田台自治会及び婦人部、三田すこやか活動推進委員会)